

# 【川崎市(神奈川県)】川崎市「水素・防災・まちづくり」官民連携プラットフォーム

## 1. 背景・目的

- 川崎市では水素活用の取組が進められており、その一環として、(株)東芝との間で、水素社会推進に向けた協定を締結した。
- 協定に基づき、水素エネルギー供給システム(H2One™)の実証実験がスタート。水素社会の推進と地域防災力の向上をめざし、同システムの住宅市街地への設置を検討することとなった。

## 2. 事業概要

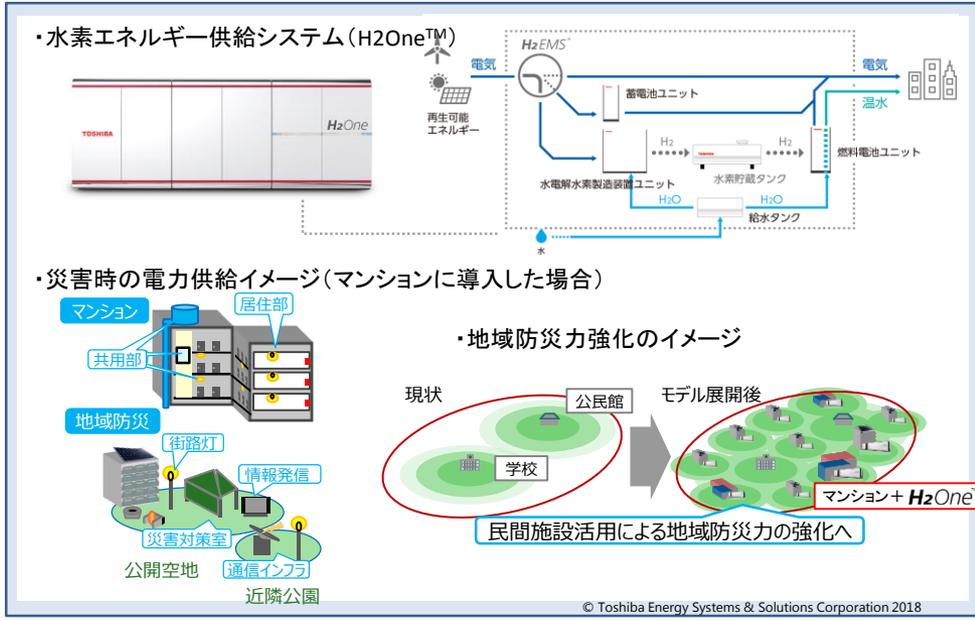
- 水素エネルギー供給システムの市街地(マンション、公共施設等)への導入と、同システムを活用した防災まちづくり。  
【平時】太陽光と水素によるクリーンな電力をマンション(公共施設等)に供給。  
【災害時】マンション居住者(施設利用者)や周辺住民に電力を供給。

## 3. 地域プラットフォームの取組概要

【プラットフォーム開催実績等】

H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○検討スタート(H27.11)</li> <li>○第1回意見交換会(H28.3) 規制・制度の適用関係について</li> </ul>
H28 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2回意見交換会(H28.8) 規制・制度の適用関係、事業化までのシナリオについて</li> <li>○サウンディング調査(H28.11-H29.2) デベロッパー、ハウスメーカー等へのサウンディング</li> </ul>
H29 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回地域協議会(H29.10) 協議会の趣旨確認、事業モデル・スキームの検討</li> <li>○第2回地域協議会(H29.12) 事業モデル・スキームの検討</li> <li>○第3回地域協議会(H30.1) 事業モデル・スキームの検討、次年度以降の活動計画の検討</li> </ul>

## 【事業関係図面等】



## 4. 取組成果

- 地域協議会を立ち上げ、水素エネルギー供給システムを市街地に設置する際の、平常時も含めた多様な活用方策や付加価値づくりについて検討した。
- 水素エネルギー供給システムのマンション、公共施設、UR団地等への設置を想定し、デベロッパー等へのサウンディング調査等による官民対話を通じて、事業化の可能性や課題等を確認、整理した。
- プラットフォーム(地域協議会)の設置要綱や活動計画を作成し、平成30年度以降も継続的に検討していく運営体制を整えることができた。

## 5. 今後の活動計画

	H30	H31	H32～
多様なサービスメニューづくりによるH2Oneの「付加価値」向上	多様な活用方策検討		
運用スキームの検討	維持管理手法・コスト精査 運用スキーム検討		
導入案件づくり	団地への導入可能性検討		庁舎への導入事業化検討
	導入案件探し		